

コロナウイルスとタバコ

概要

COVID-19 によるストレス、不確実性は禁煙の進歩を遅らせているのではないか。禁煙は非常に難しいことで有名であるが、ミネソタのホットラインに電話をかけた喫煙者は、COVID-19 のおかげで禁煙の意欲が高まったと述べている。喫煙がコロナウイルス感染による深刻な病気に対してより脆弱になる可能性があると認識されている。去年パンデミックによるストレス、不安、不確実性の真只中、たばこの販売が異常に増加し、多くのアメリカ人が日常のケアと検査から切り離され、研究者たちはすでに COVID-19 の影響について懸念していた。喫煙者の禁煙を支援する電話やオンラインで提供されるサービスは、パンデミックの混乱に耐えるのに適した位置にあるが、公衆衛生部門からの禁煙広告キャンペーンの減少が指摘されている。喫煙は他の多くの依存症と重複しているため、禁煙の試みに関するデータは、電子タバコの社会的広がりにも密接に関係しており、薬物やアルコールを乱用する人々の多くはうつ病にも苦しんでいる。

語彙リスト

Notoriously → 悪名高い maelstrom → 渦潮

その他

WHO は 2020 年に、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による重篤な疾患と死亡を発症するリスクは、喫煙者でとくに高いことを発表している。調査では、喫煙が新型コロナの感染におよぼす影響について認知しているのは、約半分という結果になった

喫煙者のうち、新型コロナに感染した際に重症化しやすいと思っている割合は 55%、喫煙所が新型コロナの感染が拡大しやすい場所だと思っている人は 59%に上った。

喫煙は、心血管疾患、がん、呼吸器疾患、2 型糖尿病などの非感染性疾患(NCD)の主要な危険因子でもあり、さらに、これらの持病をもって生活している人々は、COVID-19 に対してより脆弱で、感染時には重症化しやすくなることが分かっている。

<https://dm-net.co.jp/calendar/2021/035893.php>